



# 内閣府青年国際交流事業

1. 内閣府青年国際交流事業の概要
2. 内閣府青年国際交流事業の目的
3. 事業への応募方法

# 1. 内閣府青年国際交流事業の概要

# 事業の沿革

今上陛下の御成婚を記念して昭和34年度に開始



第1回派遣団に団旗を授与する  
岸総理大臣（昭和34年）



安倍晋三内閣総理大臣を表敬訪問  
（平成26年度「東南アジア青年の船」事業）

# 内閣府の青年国際交流事業（平成27年度）

## <船による多国間の交流>

- ・東南アジア青年の船事業
- ・次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

## <派遣・招へいによる相互交流>

- ・国際青年育成交流事業
- ・日本・中国青年親善交流事業
- ・日本・韓国青年親善交流事業
- ・青年社会活動コアリーダー育成プログラム

# (1) 「東南アジア青年の船」事業

昭和49年の日本とASEAN諸国の首脳会談における共同声明に基づき、日本・ASEAN諸国の共同事業として開始。ASEAN10カ国の選抜された青年との交流を行う。  
参加青年：日本から約40名、ASEAN各国からそれぞれ約30名ずつ

## <船内での活動例>

ディスカッション、文化交流、クラブ活動など

## <訪問国での活動例>

ホームステイ（各2泊3日）、現地青年との交流、施設訪問、表敬訪問など



◀平成26年度事業での使用船(にっぽん丸)

## <平成27年度の航路（予定）>

日本国内活動（8日間）

↓  
東京（日本）11月5日

↓  
マニラ（フィリピン）  
11月11日～14日

↓  
ホーチミン（ベトナム）  
11月17日～21日

↓  
ヤンゴン（ミャンマー）  
11月26日～29日

↓  
コタキナバル（マレーシア）  
12月5日～8日

↓  
東京（日本）12月15日



# (1) 「東南アジア青年の船」事業 【日本国内活動】

※ 昨年度の模様



▲地方プログラム（和菓子作り体験）



▲課題別視察（防災館での地震体験）



▲日本・アセアンユースリーダーズサミット  
（ディスカッションの結果発表を行う参加者）

# (1) 「東南アジア青年の船」事業

【船内活動】

## グループディスカッション



▲テーマごとに行うディスカッション活動

## クラブ活動

※ 昨年度の模様



▲クラブ活動にて外国参加青年にソーラン節を教える日本参加青年

## ナショナル・プレゼンテーション



▲伝統舞踊を紹介

## 国旗掲揚式



▲国旗掲揚式を行う参加国

# (1) 「東南アジア青年の船」事業

【訪問国活動】

## 現地青年との交流



▲現地青年と交流を行う参加青年

## 表敬訪問



▲ブルネイの皇太子殿下を表敬訪問

## 課題別視察



▲医学系大学を訪問

※ 昨年度の模様

## フラッグ・チェア



▲息の合ったフラッグ・チェア

## 出港式



▲訪問国で大勢の人に見送られる出港式

## (2) 次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

世界各国から集まった外国青年とのディスカッションなどを通じて、国際社会・地域社会等でグローバル化対応を牽引・指導する次世代リーダーを育成する。併せて、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図る。

参加青年：日本参加青年約120名 外国参加青年120名（各国12名）

### <平成27年度の日程>（予定）

日本国内活動

平成28年1月14日～19日



出航前・陸上研修

1月18日～1月26日



船上研修

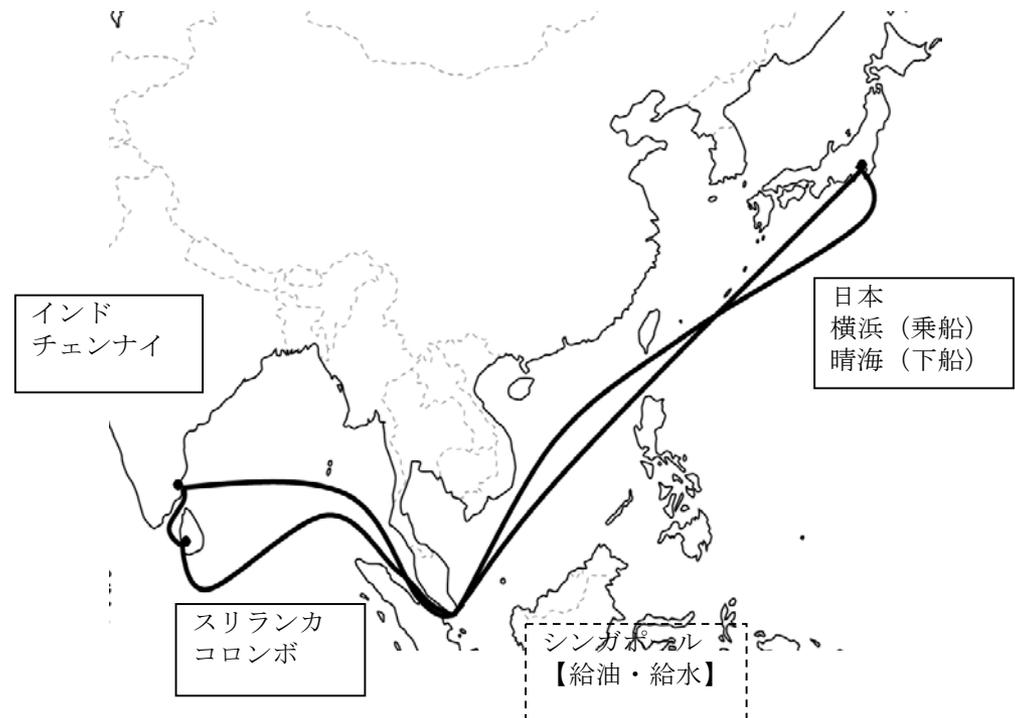
1月27日～2月29日  
寄港地（インド、スリランカ）



帰国後研修

2月29日～3月1日

H27参加国（オーストラリア、バーレーン、チリ、インド、メキシコ、ニュージーランド、ロシア、スリランカ、タンザニア、UAE、日本）



## (2) 次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

※ 昨年度の模様

### 【日本国内活動】



◀ 越智内閣府大臣政務官出席の下  
行われた歓迎レセプション



▲ 安倍内閣総理大臣表敬

## (2) 次世代グローバルリーダー事業

### 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

#### 【陸上研修】



▲ 各国の現状を踏まえたディスカッション  
(ボランティア精神コース)



▲ 運動を通して互いの理解を深める  
(スポーツレクリエーション)

#### 【船上研修】

※ 昨年度の模様



▲ 講師からリーダーシップについて学ぶ  
(リーダーシップセミナー)



▲ 日本参加青年が和太鼓演奏で  
日本文化紹介  
(ナショナル・プレゼンテーション)

## (2) 次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

### 【寄港地活動】

※ 平成23年度の模様

平成27年度は、インド及びスリランカにて課題別に分かれた視察、地元青年との交流を実施予定。



◀ 関係機関訪問 (インド)



▲ 村訪問にて歓迎を受ける参加青年 (インド)



▲ 学校訪問 (スリランカ)

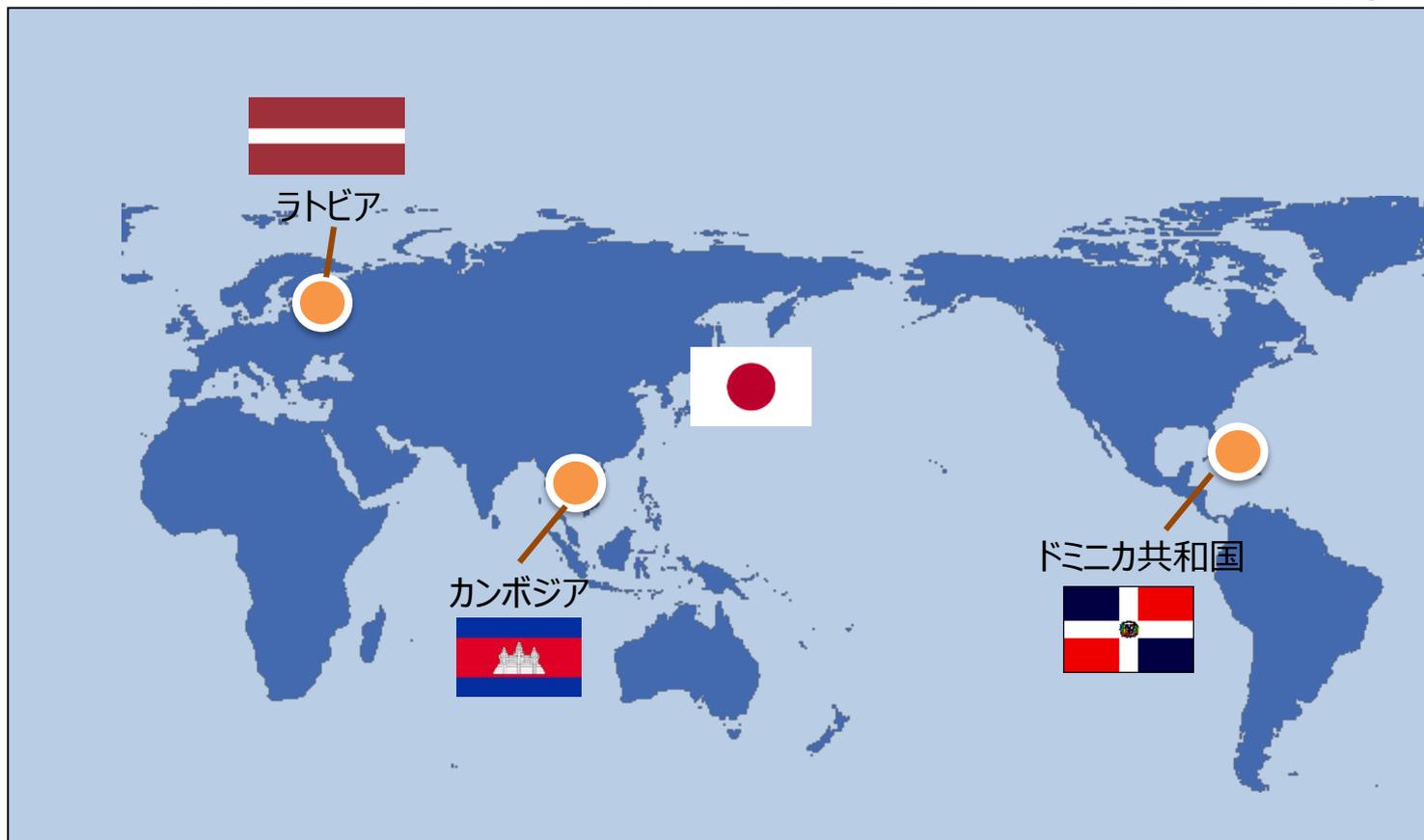
# (3) 国際青年育成交流事業

皇太子殿下の御成婚を記念して、平成6年度より開始。

2週間程度訪問国に滞在し、現地の青年等との意見交換や関係機関の視察、ホームステイ等を通じ、日本の社会・文化を発信しながら相手国の社会・文化を深く理解する。

<平成27年度> (予定)

日程：9月5日～22日 人数：各派遣団14人×3か国=42人  
(派遣国はカンボジア王国、ドミニカ共和国、ラトビア共和国のうちいずれか)



# (3) 国際青年育成交流事業

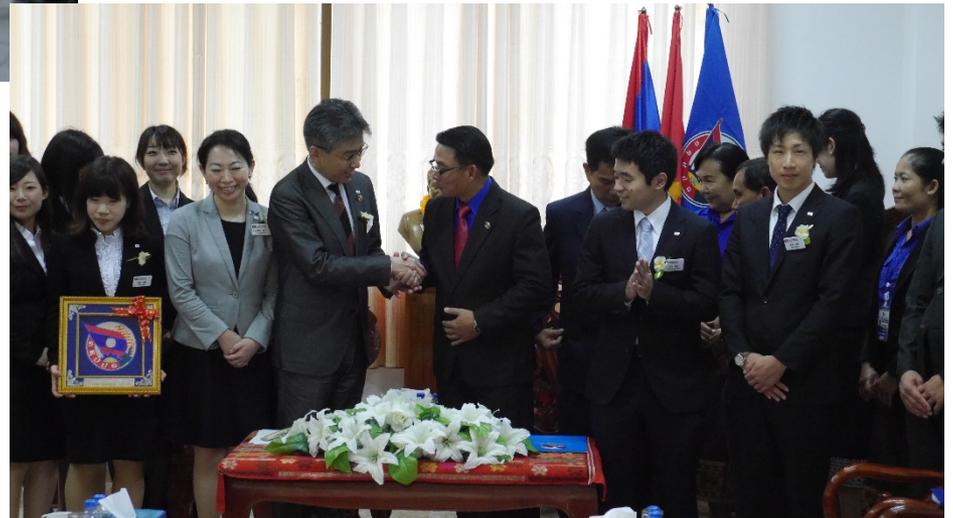
## 【各国首脳等への表敬訪問】

※ 昨年度の模様



▼ラオス青年同盟総裁表敬訪問  
(ラオス派遣団)

▲首相表敬訪問  
(エストニア派遣団)



# (3) 国際青年育成交流事業

## 【施設訪問、ディスカッション】

※ 昨年度の模様

▼ 日系人移住者の方からお話を伺う  
(ドミニカ共和国派遣団)



▲ ディスカッションで、地元青年と意見を交わす  
(エストニア派遣団)

# (3) 国際青年育成交流事業

※ 昨年度の模様

## 【文化交流】

▼ 職業訓練学校を訪問し伝統染色を体験  
(ラオス派遣団)



▲ 地元の方と日本民謡を踊る (ドミニカ共和国派遣団)

# (3) 国際青年育成交流事業

- 派遣国プログラム終了後、当該国の青年と共に帰国し、帰国後研修の一部として国際青年交流会議を開催。日本青年と外国青年が一堂に会し、2泊3日の合宿型プログラムで「青年の社会参加」を共通テーマに、環境、教育、文化の各分野についての討論を行う。



外国青年は、派遣3か国を含む6か国から参加。

平成27年度はカンボジア、ドミニカ共和国、ラトビア、エジプト、モザンビーク、パプアニューギニアの予定。

分野ごとの討論成果を全体で共有

# (4) 日本・中国青年親善交流事業

日中平和友好条約の締結を記念し、両国の共同事業として昭和54年から開始。  
2週間程度中国に滞在し、表敬訪問、地方都市の視察、現地大学生との意見交換等  
を通し、自分の目と耳で中国を知る。

<平成27年度> (予定)

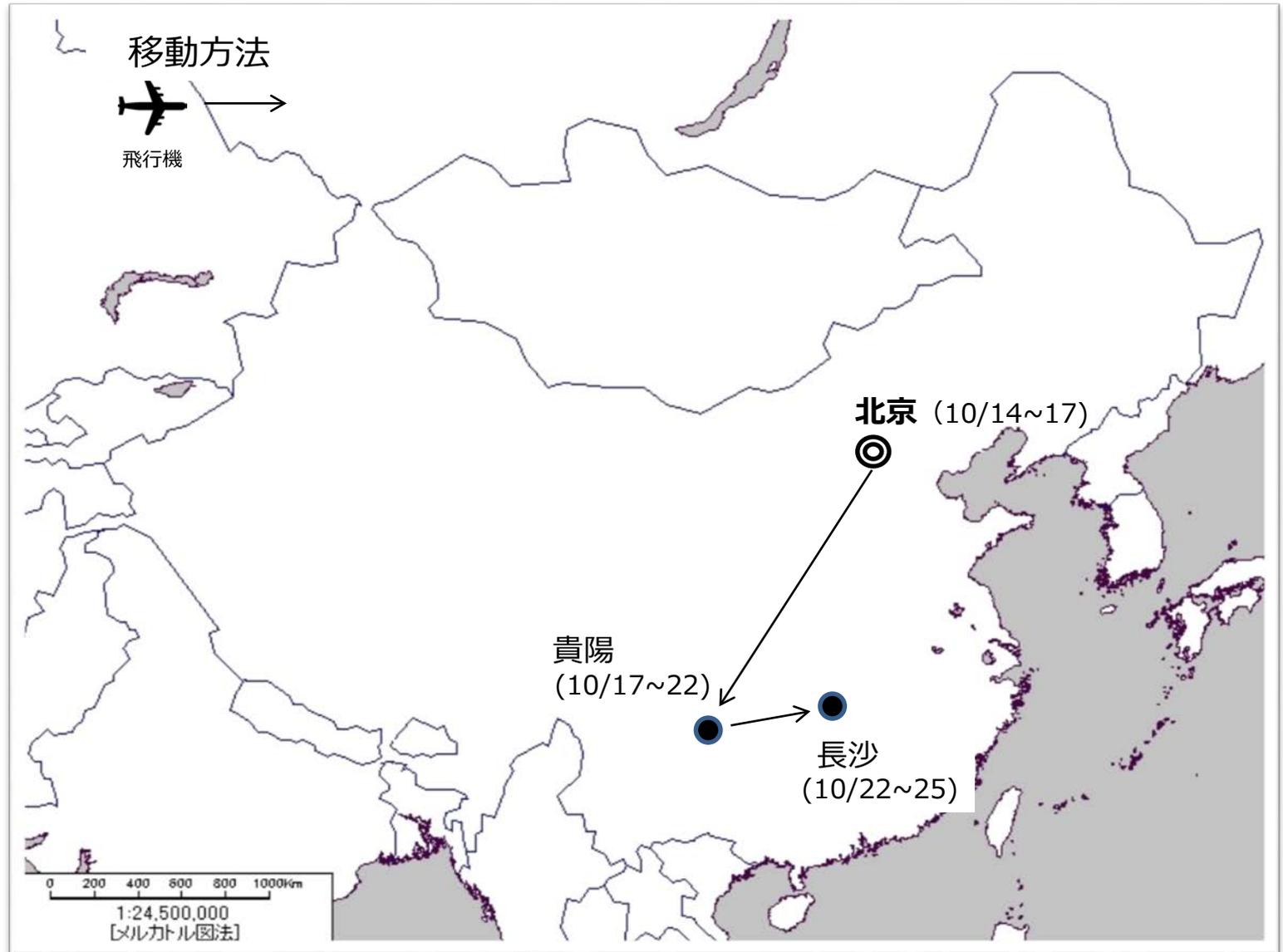
日程：8月22日～9月2日 人数：25名

※ 昨年度の模様



# (4) 日本・中国青年親善交流事業

## 昨年度の日程



# (4) 日本・中国青年親善交流事業

【表敬訪問、企業訪問】

※ 昨年度の模様



▲ 中華全国青年連合会周長奎  
副主席を表敬訪問(北京)

▼ 湖南衛星テレビ局訪問



# (4) 日本・中国青年親善交流事業

【文化交流】

※ 昨年度の模様



▼押し花を通じた交流  
(北京林業大学)

▲小学生たちとの交流  
(湖南省 岳陽楼小学校)



# (5) 日本・韓国青年親善交流事業

日韓共同声明、日韓国交正常化20周年を踏まえ、両国政府の共同事業として、昭和62年より実施。2週間程度滞在し、韓国青年との合宿、地方都市の視察、企業訪問等を通じて、自分の目と耳で韓国を知る。

<平成27年度> (予定)

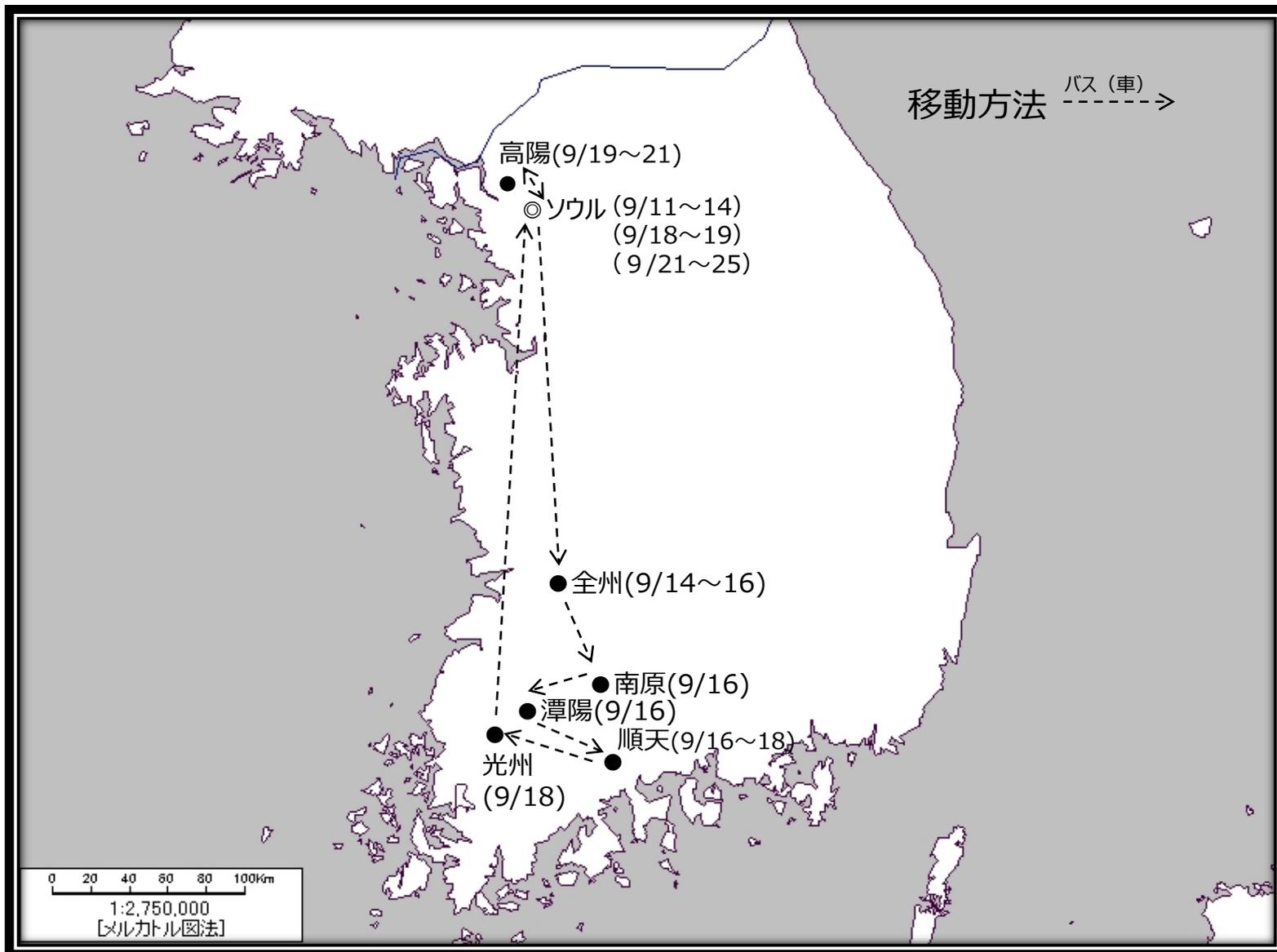
※ 昨年度の模様

日程：9月10日～24日 人数：25名



# (5) 日本・韓国青年親善交流事業

昨年度の日程



# (5) 日本・韓国青年親善交流事業

※ 昨年度の模様

【ディスカッション、企業訪問】



▼北村韓屋村にて、伝統韓紙作成を体験

▲国際青少年センターで日韓の青年が意見を交わす



# (5) 日本・韓国青年親善交流事業

※ 昨年度の模様



▲ 潭陽竹緑苑にて伝統茶道を体験

▼ ソウル市立青少年メディアセンター「ススロネット」にて映像制作を体験



## (6) 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

社会活動の中心的担い手となる青年リーダーの能力の向上と各国、各分野間のネットワークの形成を図ることを目的とし、高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の各分野において社会活動に携わる青年を海外に派遣。平成14年より実施。

※ 昨年度の模様

＜平成27年度＞（予定）

日程：10月10日～21日

訪問国：ドイツ（高齢者関連）

英国（障害者関連）

オーストリア（青少年関連）

於：児童、性差平等、人種統合及び社会福祉省▶  
（デンマーク）

於：全国ボランティア団体協議会（英国）▼



於：在ドイツ  
日本大使館▶



## 2. 内閣府青年国際交流事業の目的

# (1) 国際性を備えた青年リーダーの育成

## ① 特色ある研修による高い人材育成効果

以下の能力について、1～2か月間の短期間で飛躍的に向上

◇外国青年との密度の濃いディスカッション等を通じた

実践的なコミュニケーション能力やリーダーシップ

◇外国青年と寝食を共にする中での価値観の衝突と克服（特に船上研修）を通じた真の異文化対応力、調整力

## ② 将来に役立つ強固な人的ネットワーク

◇国内外で活発に活動するOB・OG組織（日本を含め世界56か国に既参加青年の活動組織）を通じた強固な人的ネットワークが存在（日本1万6千人、海外1万4千人）

◇各国の指導者層となりうる優秀な外国参加青年との深い絆

# (1) 国際性を備えた青年リーダーの育成

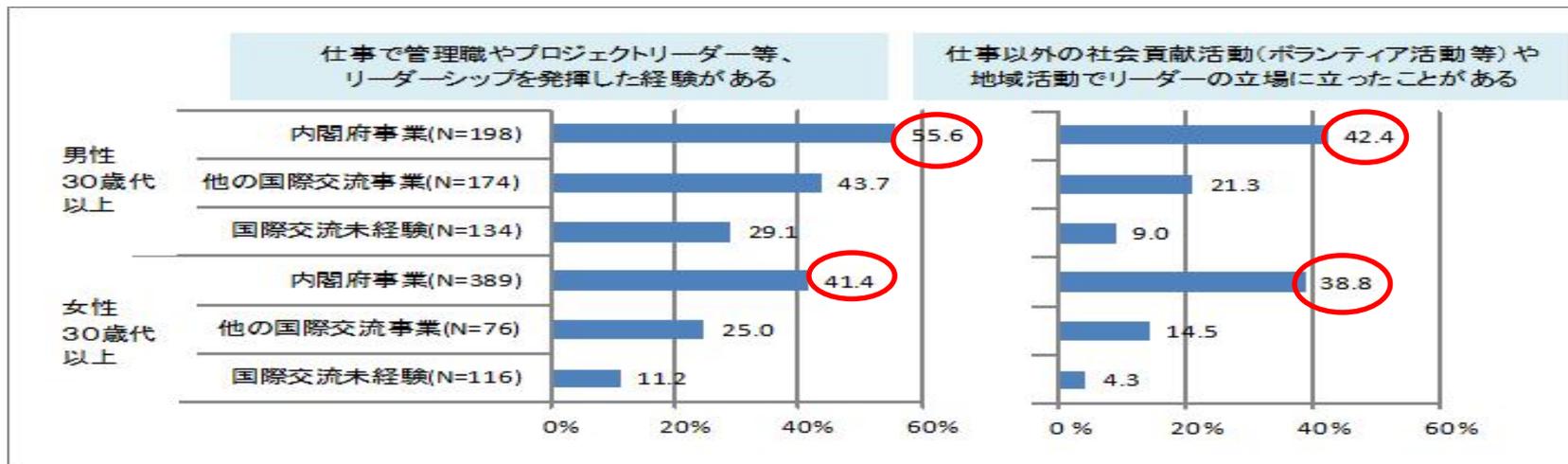
## 事業に参加して得られるもの（留学との比較）

	内閣府事業	留学
リーダーシップ	46%	9%
異文化への対応力	70%	45%
主体性・積極性・チャレンジ精神	64%	40%
その後のネットワーク	66%	15%
語学力	27%	55%
専門的な知識・技能	17%	28%

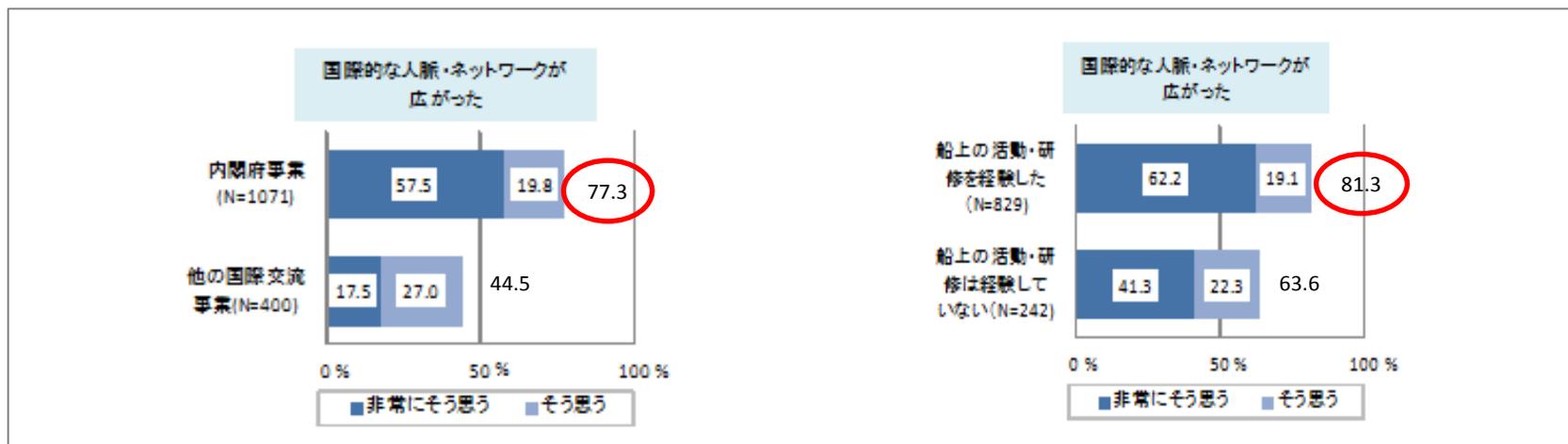
※内閣府事業と留学の両方を経験した方を対象に、各項目につき、著しく大きな効果があったとする方の割合（平成24年7月）

# (1) 国際性を備えた青年リーダーの育成

## 【事業参加者は強いリーダーシップを発揮】



## 【事業が広げる人脈・ネットワーク】



## (2) 事後活動（事業参加後の社会貢献活動）の例

### 日本の事後活動組織と海外の事後活動組織の連携

#### One More Child Goes To School

スリランカの子どもへの教育支援活動

- ・里親的支援
- ・文房具品の提供



#### 国際理解教育支援プログラム

在日外国人既参加青年を学校などに派遣して、講演や交流活動



#### 東日本大震災被災地支援活動



岩手県 I Y E O による支援の様子



東南アジア青年の船事業の国際的事後活動組織による被災地訪問・支援プログラム

### (3) 様々な分野で活躍する既参加青年

---

国際機関や企業、大学など多方面で多数の既参加青年が活躍

※秋篠宮妃殿下、劉延東國務院副総理（中国）、上杉光弘元自治大臣、長浜博行元環境大臣なども既参加青年



ヘルン・クラーク国連開発  
計画総裁・元NZ首相



石川昭政 衆議院議員

### 3. 事業への応募方法

# 事業実施時期・期間・募集人員

【平成27年度（予定）】

	航空機による青年海外派遣				船を使用する多国間交流	
	育成	日中	日韓	コア リーダー	東南アジア 青年の船	次世代 グローバル リーダー
時期	9/5～22 (18日)	8/22 ～9/2 (12日)	9/10～24 (15日)	10/11～20 (10日)	10/28 ～12/15 (49日)	1/20 ～2/29 (41日)
募集 人員	42人 各国14人 ※3か国	25人	25人	8人	39人	120人

各事業では、事業以外に、事前研修、出発（出航）前研修、帰国後研修を合宿形式で行う。

# 応募要件

- 日本国籍
- 健康
- 18歳から30歳までの青年（4月1日時点）
- 全日程への参加（事前・出発前・帰国後研修を含む）
- 社会貢献への意欲
- 一般教養
- 訪問国に対する関心・理解
- 活動を円滑に行う英語力（日中・日韓・コアを除く）  
など

※国内研修の経費など、個人負担有り

※全日程の参加については、職場や大学等の同意も必要。

# 参加費免除申請制度

平成27年度次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」において、経済的理由により参加費の納付が困難な者に対し、参加費の免除申請制度の新設。

※選考試験受験のための往復の旅費、旅券発行手数料等については、本人負担。

# 選考の流れ（1）

---

2月初旬～3月末  
※応募先による

応募受付

住民票のある都道府県に申込

3月下旬～4月中旬  
※応募先による

中間選考

都道府県にて選考

5月中旬～6月上旬

2次選考

内閣府にて選考

事業実施の2～3カ月前

最終選考兼事前研修

都内にて実施

# 選考の流れ（2）

---

## 2次選考（内閣府）

1. 人物面接（個人面接+グループ面接）
2. 教養試験（択一式+エッセイ）
3. 英会話試験（日中・日韓を除く）

## 最終選考兼事前研修

### 6日間程度の合宿形式

- ・事業の趣旨を理解する
- ・事業で個人・団として達成すべき目標について考える
- ・派遣や船上研修までの間にやるべきこと（自主研修）の計画を立てる

求む！  
日本代表！！

何を掴むかはあなた次第  
まず、一步を踏み出して、  
あなたの可能性を広げませんか

平成27年度次世代グローバルリーダー事業  
「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」は参加者募集中！

締切は7月6日（月）消印有効

平成28年度事業の募集は2月に開始予定！！

まずは検索！！



内閣府 国際交流